

むらの話題



地域のお話をお待ちしております

■総務課・広報係 ☎029-885-0340 (内) 205



シルバーリハビリ体操指導士3名に感謝状

このほど、永年にわたり体操の指導と普及に貢献した実績が認められ、本村シルバーリハビリ体操指導士会の糠賀常子さん(中央)、沼井すえ子さん(右)が県福祉部長賞を、袖山美穂子さん(左)が県立健康プラザ管理者賞を受賞されました。

シルバーリハビリ体操とは、リハビリテーション療法の運動を体操化したもので、高齢者の自立した生活や健康寿命を延ばすことを目標にした県知事認定の体操です。同会では、高齢化の急速な進展に対応するため、住民主体の体操教室を開催し、地域の活性化と高齢者の健康づくりなど、地域に密着したボランティア活動で活躍されています。

糠賀さん、沼井さん、袖山さんおめでとうございます。



大山湖畔公園内で「美浦村平和のつどい」開催



7月1日、大山湖畔公園内の鹿島海軍航空隊本庁舎跡で『美浦村平和のつどい(主催：美浦の女性活動を未来に繋ぐ会「結」)』が開催されました。

当日は、朗読ボランティア鈴の音と虹の会の協力で、「ある予科練生の手紙」(池田萌著)と「鳥になった河童 美浦太郎伝説」(日高勝彦著)の朗読が行われました。

かつて予科練生が触れたかもしれない建物での朗読に、約60名の参加者ひとりひとりが、戦争で亡くなった人々への鎮魂と、平和への思いを再認識するつどいとなりました。

青少年健全育成のための環境整備・啓発活動実施



7月1日、青少年育成美浦村民会議は、葉梨輝夫会長を中心として、青少年を取りまく環境浄化のため、通学路の清掃や、有害広告物の除去など青少年を取りまく社会環境の点検活動を実施しました。

当日は、30名の会員が通学路の清掃を実施しました。また、青少年相談員はコンビニエンスストアなど、青少年と関わりの深い店舗を訪問し、環境整備について協力を依頼しました。会員の皆さん、厳しい暑さの中の活動、ありがとうございました。

スイセンの球根を植えました

6月28日、チャレンジいばらき県民運動推進員の連絡会である、「大好き美浦村ネットワーク協議会(松本政幸会長)」の皆さんが、花いっぱい事業の一環として、村内有志の方々から分けていただいたスイセンの球根を大山地内の水防拠点内へ植栽しました。

来年春には可憐な花が心を和ませてくれるでしょう。開花が楽しみです。

